

DVA S1518N / S30N







アクティブ サブウーハー

取扱説明書











安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なおいや音がするとき 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災/感電の原因となります。 販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に修理をご依頼ください。 万一、煙が出ていたり、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。 すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 煙が出なくなるのを確認して、販売店まで修理をご依頼下さい。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災/感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災/感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。 また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。 火災/感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災/感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災/感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災/感電の原因となります。 内部の点検/修理は販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災/感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p>警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <p>指示</p>	<p>設置の際は、資格や経験を持った人(専門業者)に必ず依頼する 天井や壁掛け設置、床などに設置の際は、設置場所の強度を確保する 使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。 天井/壁/柱/床などに設置する場合は、設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。</p>
	<p>注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災/感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災/感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災/感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック 修理 センター (巻末に記載) にご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となる場合があります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

目次

安全にお使いいただくために.....	2
目次.....	4
商標および著作権に関して.....	4
はじめに.....	4
本製品の構成.....	4
別売りアクセサリ.....	4
本書の表記.....	5
ユーザー登録について.....	5
アフターサービス.....	5
設置上の注意.....	5
結露について.....	5
製品のお手入れ.....	5
本機の概要.....	6
組み合わせと最適化.....	6
dBTechnologies Composerソフトウェアについて.....	6
設置方法.....	7
付属のゴム足取り付け(DVA S30Nのみ).....	7
サブウーハー上に設置 例1(DVA S1518Nのみ).....	7
サブウーハー上に設置 例2.....	7
サイドサポート方式によるフローまたはスタック設置 (DVA S1518Nのみ).....	8
様々な構成で使用する設置(平置きまたは段積み).....	8
天井設置 (DVA S1518Nのみ).....	9
各部の名称.....	10
コントロールパネル.....	10
電源パネル.....	10
適合ケーブル.....	11
電源および外部機器との接続.....	12
電源の接続.....	12
電源リンクの接続 (DVA S1518Nのみ).....	12
オーディオ信号の接続.....	12
RDNetの接続.....	12
リモート機器の取扱説明書ダウンロード先.....	13
dBTechnologies Networkについて.....	13
dBTechnologies Networkのダウンロード先.....	13
F/Wアップデート	
(USB Burner Manager ソフトウェア).....	13
dBTechnologies Composerのダウンロード.....	13
アクセサリの取扱説明書ダウンロード先.....	13
仕様.....	14
一般.....	14
寸法図.....	15
ブロックダイアグラム.....	16

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Neutrikは、Neutrik AGの登録商標です。また、powerCON およびTRUE1は、Neutrik AGの商標です。
- DigiproはAEB INDUSTRIALE SRLの商標です。
- dBTechnologiesはA.E.B Industriale SRLのそれぞれの国における商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびは、dBTechnologies DVA S1518NおよびDVA S30Nをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

DVA S1518N

- 本体 (DVA S1518N)..... × 1
- Neutrik社製 powerCON 電源コード..... × 1
- 取扱説明書(本書、保証書付き)..... × 1

DVA S30N

- 本体 (DVA S30N)..... × 1
- Neutrik社製 powerCON 電源コード..... × 1
- ゴム足(滑り止め用)*..... × 4
- 取扱説明書(本書、保証書付き)..... × 1

* DVA S30Nには、設置場所が滑りやすい場合に滑り止め用ゴム足(4個)が付属しています。横置き、または縦置きの際、本機の指定の場所に専用ネジで固定してお使いください。取り付け方法は、7ページの「付属のゴム足取り付け(DVA S30Nのみ)」を参照してください。

別売りアクセサリ

輸送や本体設置のために下記の別売りアクセサリが、ご使用になります。

DVA S1518N アクセサリ

- フライバー DRK-10 (吊り下げフレーム)
(DRK-10: 最大荷重250Kg)
- ブラケット SRK-10 (サイドサポートキット)
- 台車 (ホイール付き) DO 18 (4輪セット)
- 運搬用カバー TC 10S
- レインカバー TC 18S
- 電源LINK用ケーブル AFL 05
(Neutrik社製 powerCON LINK ケーブル1.5m)

DVA S30N アクセサリ

- 台車 (ホイール付き) DO 218 (4輪セット)
- 運搬用カバー TC 30S
- レインカバー DRP S30

DVA S1518N/DVA S30N 共通アクセサリ

- フライバー DRK-20 (吊り下げフレーム)
(DRK-20: 最大荷重1300kg)
- ポールマウント DS2 (スピーカーポール)
- ポールマウント DS2-S (ミニスピーカーポール)
- 運搬用ホイール DWK 20 (4輪セット)

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「POWER」のように太字で表記します。
- 本機のディスプレイに表示される文字を“MAIN”のように“ ”で使って表記します。

ヒント

本機を、このように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。[<https://tascam.jp/jp/login>]

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（巻末に記載）されています。大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店／ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、保証書に記載の無料修理規定によりティアック 修理 センター（巻末に記載）が無料修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理については、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター（巻末に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店またはティアック 修理 センター（巻末に記載）までご連絡ください。
- 修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番 (DVA Sxx)*
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状 (できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

* ご使用中の[DVA S1518N/DVA S30N] いずれかの型名をお知らせください。

設置上の注意

- 吊り下げフレーム(フライバー DRK-10およびDRK-20)を使用して、DVA S1518Nを天井設置する場合は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 本機の動作保証温度は、摂氏-5度～50度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質低下の原因、または故障の原因となります。
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気が多い場所や風通しが悪い場所。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- 熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機の近くに大型トランスを持つ機器がある場合にハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くで本機を動作させると、テレビ画面に色むらが出る、またはラジオからの雑音が出ることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発進時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

本機の概要

dBTechnologies DVA S1518NおよびDVA S30Nは、アクティブサブウーハーです。

クラスDのDigipro G2アンプをDVA S1518Nは1個、DVA S30Nは2個搭載し、電圧自動切替機能を備えたスイッチング電源により、冷却ファンを排除し*、静かな動作を実現しています。また、電源部にはPFC(Power Factor Correction)を搭載し、電圧が不安定な環境でもAC 100 V～240 Vの範囲内であれば常に一定のサウンドを効率よく出力します。

* サーマルコントロールは、電源部とアンプ部に配置されたマイコンによって温度モニターを行い、メインマイコンによって温度制御し、DSPによって保護モードに入ります。

アンプ部の温度が極端に上昇した場合、正常な温度に戻るまで音量を[0.1 dB]刻みで徐々に下げ、温度が正常な値になると自動的に元の音量に戻ります。

- 本機は、DVA S1518NでRMS出力[1500 W]、DVA S30NでRMS出力[3000 W]を出力し、最大音圧レベル(SPL)は、DVA S1518N：138dB、DVA S30N：141dBに対応します。

- 高品質な18インチウーハーユニットをDVA S1518Nは1個、DVA S30Nは2個搭載。

- 多くの構成や設置に柔軟な対応ができるハンドルと取付ポイントを装備しています。

別売りの吊り下げフレーム(フライバー DRK-10およびDRK-20)を使って、本機の上に、DVA T8を最大4台まで、DVA T12を最大3台まで設置することができます。

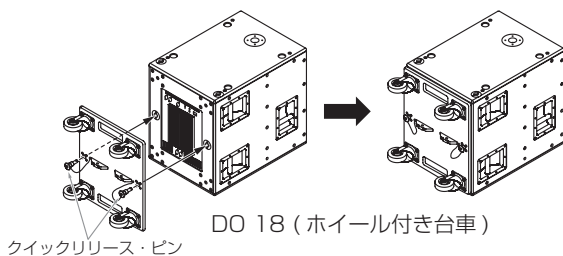
また、DVA S1518Nは、別売りの35mm径のポールマウントDS 2とポールマウントアダプター DSA 4を組み合わせて、最大3台までのDVA T8を本機の上に設置可能です。

- DSP制御によるフェーズ切替とディレー、クロスオーバー周波数調整によって、最も適切な設定(エンドファイヤー、カーディオイド)にチューニングして、あらゆる状況で、最適な指向性を得ることができます。

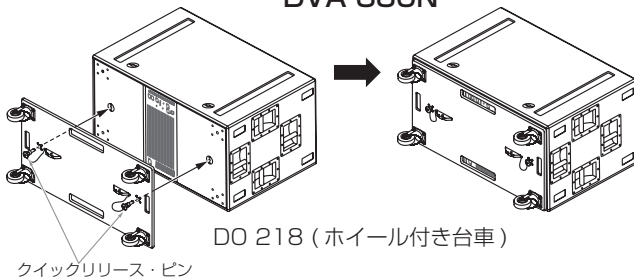
- 運搬の際の保護ケースや保護ケースと台車を組み合わせた搬送用台車(トローリー)も、別売りでご用意しています。

- 台車 DO 18 (DVA S1518N用)
- 台車 DO 218 (DVA S30N用)

DVA S1518N



DVA S30N



組み合わせと最適化

本機を単体で使用する場合は、無指向性のサブウーハーとして使用できます。この場合、低い周波数のときは無指向性で、周波数が高くなるにつれて指向性を持ちます。

そのため、ラインアレイや他のサブウーハーと組み合わせる場合、サブウーハー単体やアレイ全体の音響特性を最適化するために、一連のコントロールが必要になります。

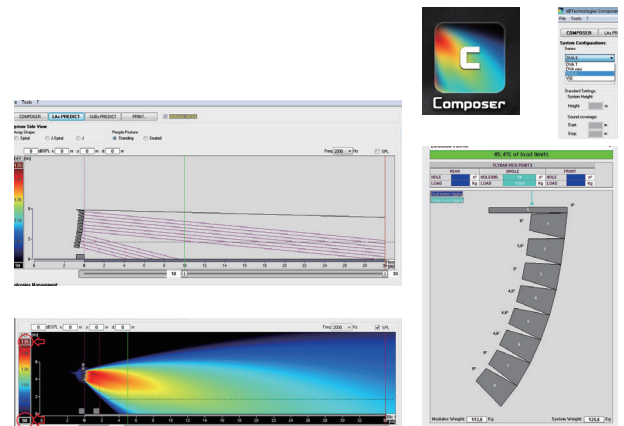
ユーザーが本機の操作部から設定可能な操作は、クロスオーバー周波数、ディレー (0.5msステップで0～4.5ms)、フェーズ切替(0°または180°)です。

また、様々な構成で使用できる設定(例えば、カーディオイド、エンドファイア、ラインアレイなど)については、dBTechnologies社から無料配布されるdBTechnologies Composerソフトウェアを併用されることをお勧めします。

dBTechnologies Composerソフトウェアについて

DVA Sシリーズをお使いになる場合に、無料のdBTechnologies Composerソフトウェアを併用されることをお勧めします。

このソフトウェアを使用すると、狙ったカバレッジを実現するためのラインアレイ構成のモジュール角度の解析や、選択したエリアに合わせたラインアレイ構成のシステム設定が行えます。また、吊り下げフレーム(フライバー)の静的動作をシミュレートすることで効率的に、ラインアレイモジュール設置の安全性を確認できます。



(dBTechnologies Composerソフトウェアイメージ図)

dBTechnologies Composerソフトウェアのダウンロードは、13ページの「dBTechnologies Composerのダウンロード」を参照してください。

設置方法

電源を入れた後に、必ずリアパネルの**Input Control**のボリュームレベルが0 dBポジションであることを確認してください。その後、**FULL RANGE MAINS INPUT**端子に付属のNeutrik社製 powerCON 電源コードが正しく接続され、電源供給が行われているか確認してください。(各端子類や操作部については10ページの「各部の名称」を参照してください。)

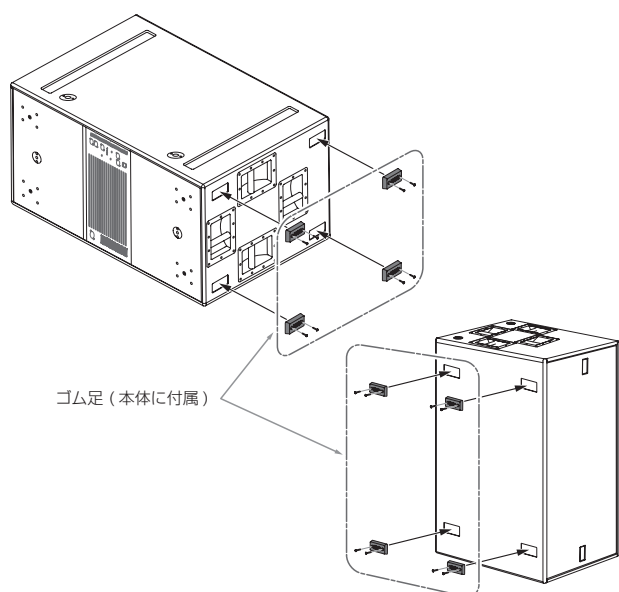
注意

ここで紹介する設置方法以外で、絶対に設置しないでください。指示を守らない場合、人がけがをしたり、機器が壊れたりする原因となります。

- 設置は、資格や経験を持った人(専門業者)が必ず行い、使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や動物・機器に損害を与えないようにしてください。
- 設置部分の強度が機器の総重量に十分対応可能か確認してください。(設置部分の強度が不足している場合、落下や転倒して、人や動物 機器に損害の原因になります。)
- 誤った方法で本体のハンドルや取付ネジ穴を使用して、本機器を設置したり、吊るさないでください。
- 別売りアクセサリを安全にお使い頂くために、使用前など定期的にしっかりと固定・組み立てられているかチェックしてください。(弊社は、不適切なアクセサリの使用、または追加による損傷に対していかなる責任も負いません。)
- スピーカーは、必ず安定した場所に確実に設置してください。
- 安全上の理由により、適切な固定方法を用いることなくスピーカーを重ねて設置しないでください。
- スピーカーを吊り下げる場合は、すべての部品をチェックし、ダメージ・変形・歪み・欠落がないか確認し、設置中の安全に問題がないことを確認してください。

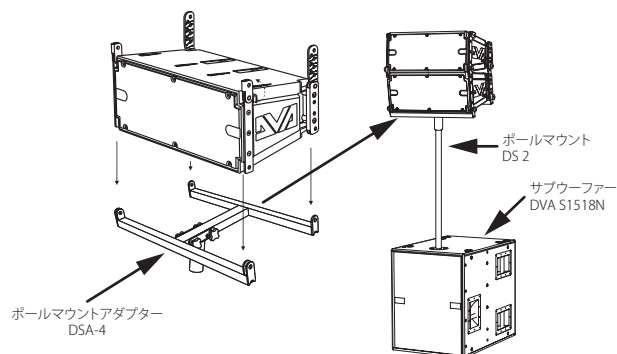
付属のゴム足取り付け(DVA S30Nのみ)

DVA S30Nには、設置場所が滑りやすい場合に、滑り止め用ゴム足(4個)が付属しています。横置き(または縦置き)の際、本機の指定の場所に専用ネジで固定してお使いください。



サブウーハー上に設置 例1(DVA S1518Nのみ)

DVA T8をDVA S1518N上に別売りの35mm径のポールマウント DS 2とポールマウントアダプター DSA 4を組み合わせて、最大3台まで設置可能です。



注意

安定した設置のために、スピーカー底部と床との高さは、85cm以下にしてください。

メモ

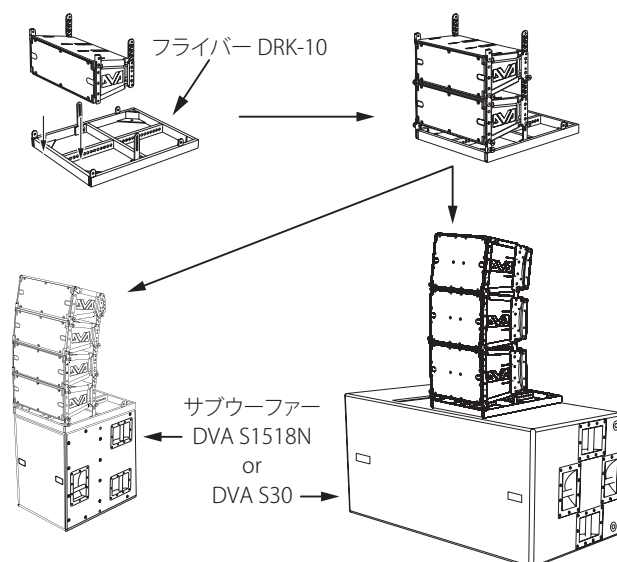
別売りのポールマウントアダプター DSA 4は、 $\pm 5^\circ$ の傾斜をつけて取り付けることが可能です。

詳細は、アクセサリの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 13ページ「アクセサリの取扱説明書ダウンロード先」)

サブウーハー上に設置 例2

別売りの吊り下げフレーム(ファイバー DRK-10およびDRK-20)を使って、DTA T8を最大4台、またはDTA T12を最大3台までサブウーファー DVA S1518N(DTA T8)、またはDVAS30(DTA T12)の上に設置することができます。

ファイバー DRK-10のスピーカー取付例



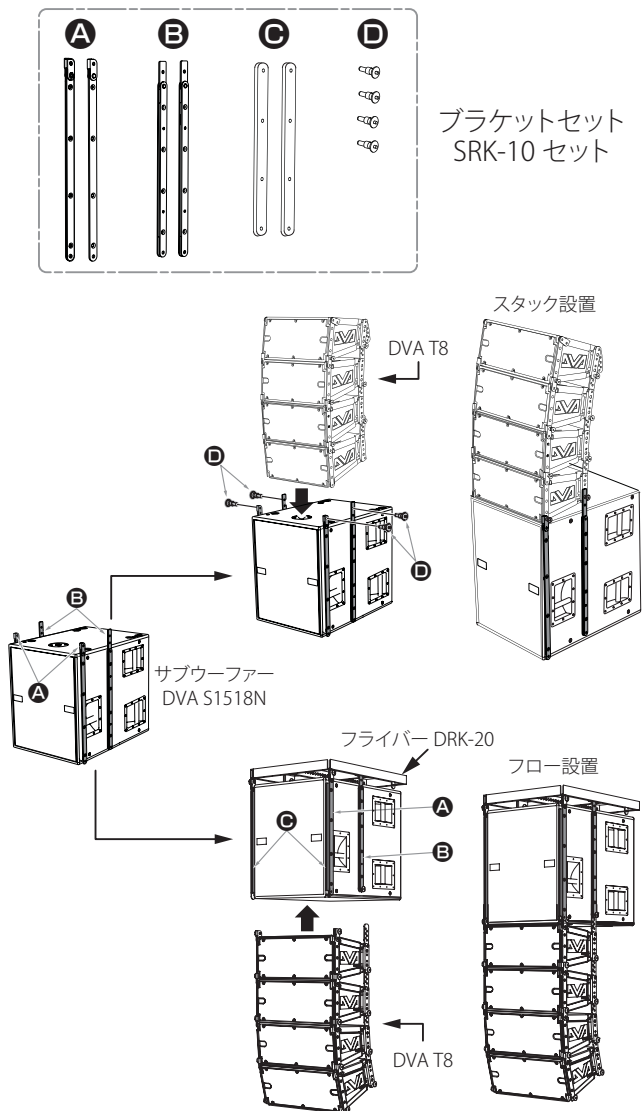
注意

サブウーファーは、必ず水平な場所に設置し、サブウーファー上のスピーカーが転倒して人や動物、物にダメージを与えないようにしてください。

詳細は、アクセサリの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 13ページ「アクセサリの取扱説明書ダウンロード先」)

サイドサポート方式によるフローまたはスタック設置 (DVA S1518N のみ)

別売りのブラケット SRK-10を使用して、本機の上に直接、DTA T8を最大4台まで積み重ねたスタック設置や下に吊り下げたフロー設置が可能です。

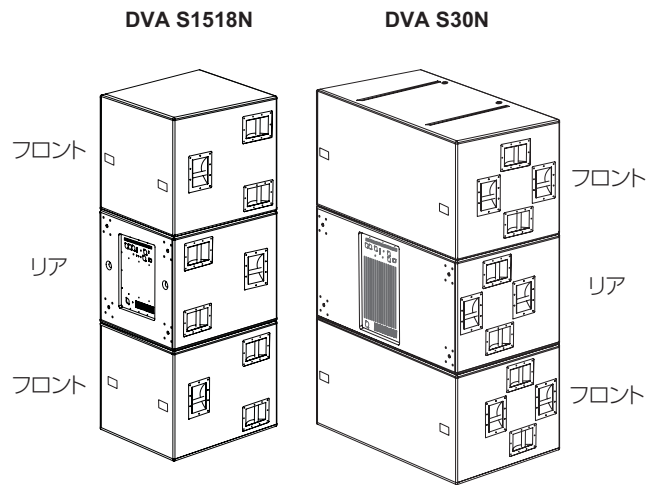


詳細は、アクセサリの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 13ページ「アクセサリの取扱説明書ダウンロード先」)

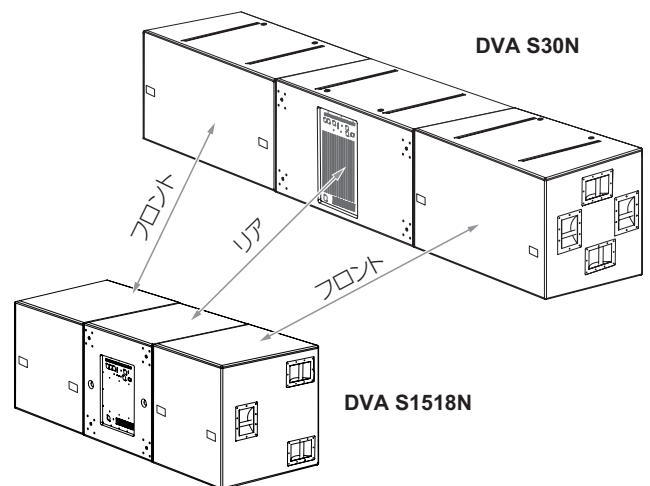
様々な構成で使用する設置(平置きまたは段積み)

本機は、エンドファイヤーとカーディオイドの構成で、設置することができます。dBTechnologies Composerソフトウェアを使用すると、常に正しい補正值(ディレイやフェーズ)が選択できます。

段積みカーディオイド 設置例



平置きカーディオイド 設置例



注意

安定した設置のために、平らな床に設置してください。

メモ

別売アクセサリを使用する場合は、それぞれの機能や全体を定期的にチェックしてください。

天井設置 (DVA S1518N のみ)

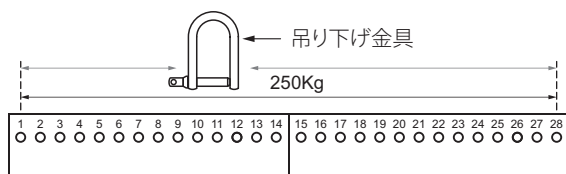
別売りの吊り下げフレーム(フライバー DRK-10およびDRK-20)を使って、天井設置することができます。

通常の設置や安全な耐荷重は、dBTechnologies Composerソフトウェアで確認することができます。

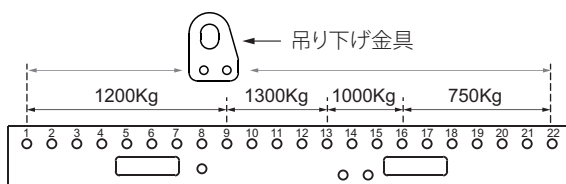
注意

- それぞれの吊り下げフレームの最大耐荷重は、吊り下げ金具の取付け位置で、異なりますので下図の表を参照してください。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

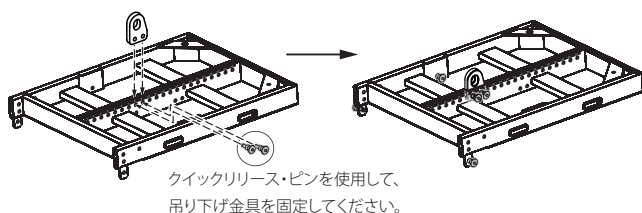
フライバー DRK-10/20の吊り下げ金具取付例



フライバー DRK-10のセンターラダー



フライバー DRK-20のセンターラダー

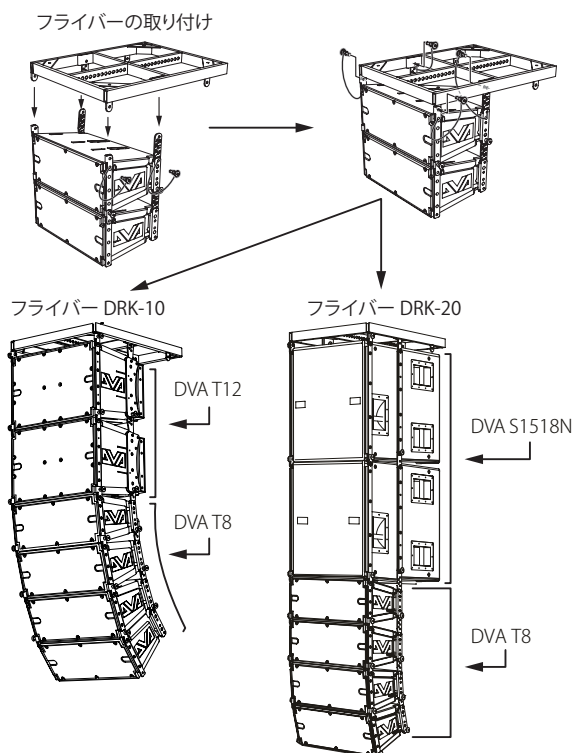


吊り下げ金具 穴位置	耐荷重 (最大)	
	DRK-10	DRK-20
1-9	250 kg	1200 kg
9-13	↑	1300 kg
13-16	↑	1000 kg
16-22	↑	750 kg
16-28	↑	--- kg

詳細は、アクセサリの取扱説明書を指定ページからダウンロードして参照してください。(→ 13ページ「アクセサリの取扱説明書ダウンロード先」)

フライバー DRK-10/20のスピーカー取付例 (DVA S1518N のみ)

サブウーファー DVA S1518Nを吊り下げたフロー設置が可能です。



注意

- フライバー DRK-10/20に適用可能な最大耐荷重は、吊り下げ金具の取付け位置で異なります。
- 指定の荷重や台数を超えての設置は、機器または人に損害を与える恐れがあります。

詳細は、9ページ「フライバー DRK-10/20の吊り下げ金具取付例」を参照してください。

フライバー DRK-10で混合構成の場合

モジュラー構成が可能なDVAシリーズは、DVAシリーズの異なるスピーカーを組み合わせて吊り下げ構成にすることが可能です。その場合、組み合わせた合計重量を計算してください。

例) DTA T8 + サブウーファー DVA S1518N

機種	台数	小計	合計
DVA T8	12台	180 kg	226 kg
DVA S1518N	1台	46 kg	

フライバー DRK-20で混合構成の場合

モジュラー構成が可能なDVAシリーズは、DVAシリーズの異なるスピーカーを組み合わせて吊り下げ構成にすることが可能です。その場合、組み合わせた合計重量を計算してください。

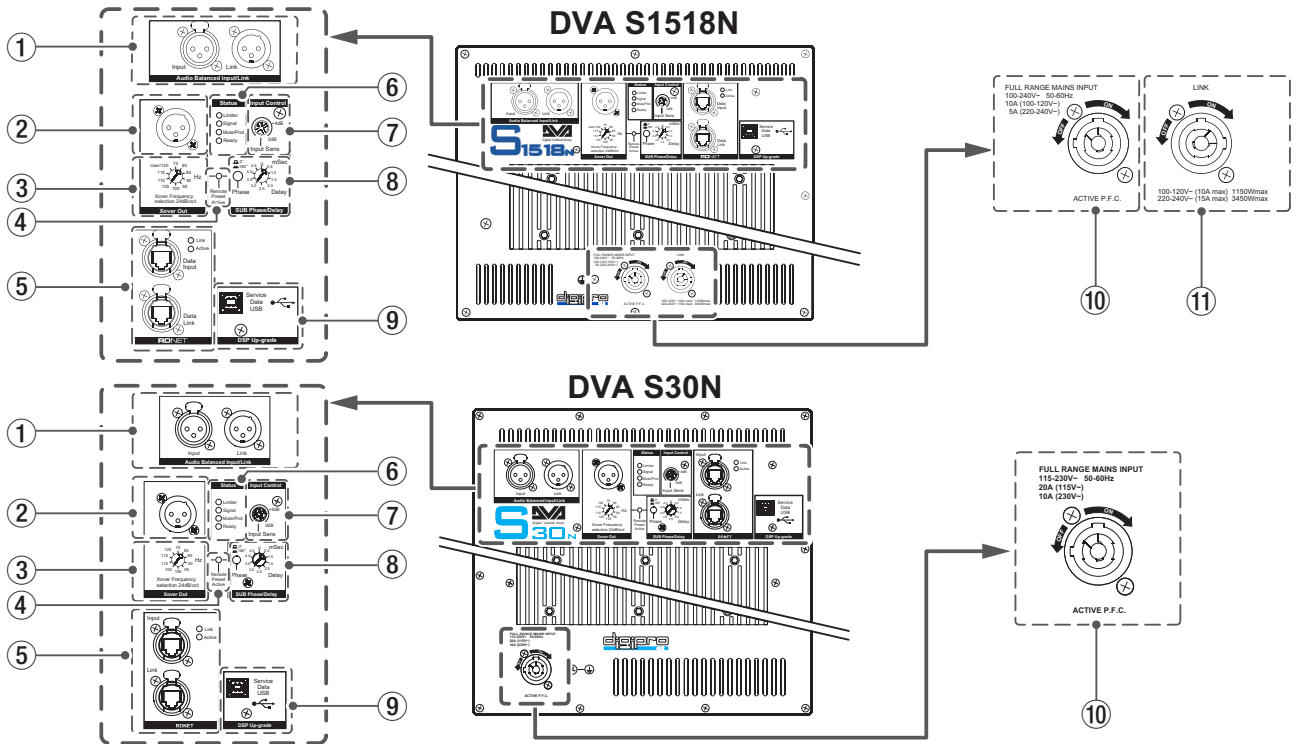
例) DVA T8 + DVA T12 + サブウーファー DVA S1518N

機種	台数	小計	合計
DVA T8	10台	150 kg	484 kg
DVA T12	5台	150 kg	
DVA S1518N	4台	184 kg	

各部の名称

コントロールパネル

電源パネル



① Audio Balanced Input/Link

● Input

XLR端子によるアナログバランス入力端子で、ラインレベルのバランス信号入力が可能です。

● Link (Output)

XLR端子によるアナログバランス出力端子で、他のアンプ内蔵スピーカーにバランス信号を送出します。

注意

電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にして下さい。

② Xover Out (XLR 出力端子)

XLR端子によるバランス出力端子で、クロスオーバー周波数設定(③)選択された周波数で、他のアクティブスピーカーへ出力します。

③ Xover Out (Xover Frequency selection)

クロスオーバー周波数設定 (75Hz ~ 120Hz)

Xover Out 端子(②)に接続されたアクティブスピーカーとのクロスオーバー周波数を選択できます

周波数設定は、[5Hz刻み、24 dB/Octスロープ]で設定可能です。

注意

クロスオーバー周波数の選択は、システム構成や希望する再生音によって異なります。

④ Remote Preset Active (LED)

本機がRDNet ネットワーク上で、制御(リモートコントロール)されている場合に点灯します。

⑤ RDNET (Ethernet RJ45 端子)

データネットワーク接続(Ethernet RJ45 端子)の入出力です。ネットワーク接続でクロスオーバー周波数設定やディレイ調整および入力感度調整、DSP制御を行うことが可能です。(スピーカー単体での設定は、使用されません。)

● Data input

別売りのネットワークコントローラー RDNet Control 2またはControl 8に接続します。

● Data Link

本機を複数台設置する際やラインアレイ構成で他のスピーカーにディジチェーン接続して使用します。

● Link LED (黄色)

RDNetネットワークがデバイスを認識した場合に点灯します。

● Active LED (緑色)

RDNetネットワーク上でデータの通信を行っている際、点滅します。

⑥ Status

● Limiter LED (赤色)

入力信号の歪み音や他の不具合で内部リミッターが作動した場合に点滅します。

これは、アンプ回路が信号の歪みを防ぎ、ユニットが過負荷になるのを防ぎます。

注意

Limiter LEDが連続して点灯した状態は、入力信号の歪み音を伴う、過度の負荷をかかっている状態を示しています。そのままの状態、長時間連続使用しないでください。その場合、機器が壊れたりする原因となります。

● Signal LED (緑色)

オーディオ信号が入力されている時に点滅します。
その他の不具合で停止した場合は、消灯します。

● Mute/Prot LED (黄色)

電源投入時に数秒間(約5秒間)点灯し、正常な状態で動作している時は消灯しています。

アンプ内部の温度をモニターし、オーバーヒートの保護回路が作動した場合、Mute/Prot LED(黄色)が点滅することで知らせます。適正な内部温度になってから、音量と全ての機能は元通りに復帰し、消灯します。

その他の不具合で停止した場合は、点灯します。

● Ready LED (緑色)

正常に状態で動作している時に点灯します。
その他の不具合で停止した場合は、消灯します。

⑦ Input Control (Input Sens)

入力感度調整ボリューム

アンプ部に入力する信号の感度を調整します。

電源を投入した後に必ず、0dBに設定してください。

注意

電源を入れる前には、音源側の音量を最小にして下さい。

⑧ SUB Phase/Delay

サブウーハー設定

● Phase

フェーズ スイッチ (OFF : 0° / ON : 180°)

本機のフェーズを0度、または180度反転する場合に選択するスイッチです。

スイッチを切り換えることで、設置場所に制約がある場合でも低域の再生音を最適化することができます。

また、カーディオイド構成時にも使用します。

● Delay

ディレイ調整

本機のから再生される音のディレイ値を調整します。

スピーカーとサブウーハーとの位置関係によって発生する音のズレを0～4.5mSecの範囲で調整します。

また、エンドファイヤー構成時など強い指向性を持たせたい場合に2～3台のサブウーハーを同時に使うことにより、直接サブウーハー正面の広がる音を、変えることなく背面に回り込む低域を大幅に減衰することが可能です。

(DVA S30Nの場合、この構成には最低3台が必要です。)

⑨ Service Data

サービスデータ端子 (Mini USB Bタイプ)

本機のF/Wをアップデートする際、使用します。

ダウンロード方法は、13ページの「F/Wアップデート (USB Burner Manager ソフトウェア)」を参照してください。

⑩ FULL RANGE MAINS INPUT

AC電源 端子 (Neutrik社製 powerCON端子 ブルー)

付属のNeutrik社製 powerCON 電源コードを接続します。

注意

- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

⑪ LINK (DVA S1518Nのみ)

電源リンク端子 (Neutrik社製 powerCON端子 グレー)

他のサブウーハーやアクティブスピーカーなどに電源を供給する端子で、FULL RANGE MAINS INPUT 端子とは、並列接続になっています。

ご使用時は、別売りの専用Neutrik 社製 powerCON LINK ケーブルをお使いください。

- LINK(電源Link 端子)の最大供給電流は、下記の表に記述してある許容範囲まで、スピーカーを接続することができます。

FULL RANGE MAINS INPUT 端子の最大供給電流 (AC100-120V時)	
DVA S1518N	10 A (max)/1150 W

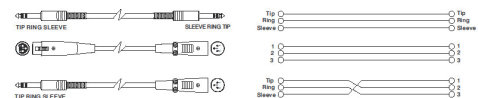
注意

- 上記以外の方法で、他のアクティブスピーカーなどに電源供給を絶対に行わないでください。その場合、感電および機器を破損する恐れがあります。
- Neutrik 社製のケーブルについては、タスカム カスタマーサポート (巻末に記載) にご相談ください。

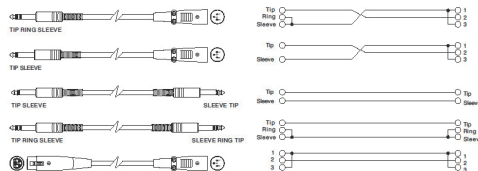
適合ケーブル

本機に適合するオーディオケーブルには、以下のタイプがあります。

バランスケーブル



アンバランスケーブル



注意

- ケーブルの接続/取り外しは必ず、電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。

電源および外部機器との接続

電源の接続

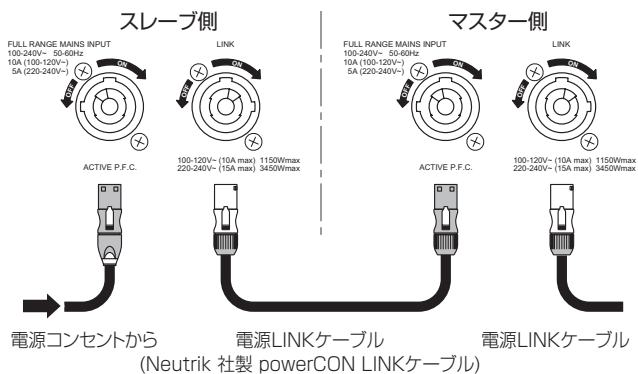
付属のNeutrik社製 powerCON 電源コードを**FULL RANGE MAINS INPUT**(AC電源 端子)に接続し、時計回りに端子を回転させてロックしてください。ロックされると電源が入ります。また、電源を落とす場合は、逆の手順で取り外してください。

注意

電源コードは、付属のNeutrik社製 powerCON 電源コードをご使用ください。それ以外のケーブルを使用すると感電およびスピーカーの動作に影響する場合があります。

電源リンクの接続 (DVA S1518Nのみ)

本機は、デジチェーン接続で電源(DVA S1518Nのみ)を1台目のスピーカー(マスター側)から2台目以降のスピーカー(スレーブ側)に供給することができます。



Neutrik 社製 powerCON LINK 端子は、マスター側からスレーブ側に専用電源LINKケーブルを使って、デジチェーン接続が可能です。

DVA S1518N(DVA S30Nは除く)で、電源リンクの接続を行うには、まずNeutrik社製powerCON 電源コードを使って、マスター側の本機をコンセントに接続した後、別売りのNeutrik社製 powerCON LINKケーブルを使って、マスター側のLINK(電源Link 端子)とスレーブ側のFULL RANGE MAINS INPUT(AC電源 端子)に接続します。

この接続を繰り返して、マスター側のLINK(電源Link 端子)の下側に記載された最大供給電流に達するまでスピーカーを接続することが可能です。

注意

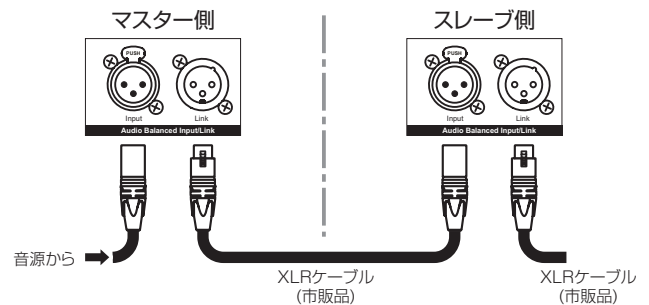
- 濡れた手または、機器や電源コードが濡れた状態で、絶対に電源コードの接続や取り外しをしないでください。感電および機器を破損する恐れがあります。
- ケーブルの接続や取り外しは、必ず電源を切って電源コードを全て外した状態で行ってください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

オーディオ信号の接続

同一音源を2台以上のスピーカーに接続する場合、マスター側からスレーブ側に送出することができます。

この接続を行うには、まず音源機器からマスター側のバランス入力(Audio Balanced Input 端子)に接続した後、バランスXLRケーブル(市販品)を使ってマスター側のバランス出力(Audio Balanced Link 端子)とスレーブ側のバランス入力(Audio Balanced Input 端子)に接続します。

この接続を繰り返すことで、以降のスピーカーを接続することができます。スピーカー配置に沿った接続が可能です。



注意

- 電源を入れる前には、音源側の機器の音量を最小にしてください。
- 不具合や音質劣化を防ぐために、ダメージを受けたケーブルは新しいものと交換してください。

RDNetの接続

本機をリモート操作をする場合は、別売りのネットワークコントローラー(RDNet Control 2やRDNet Control 8)を使用して、制御したいスピーカーのData Input端子(Ethernet RJ45 端子)にコントローラーからのLANケーブル(市販品)を接続します。

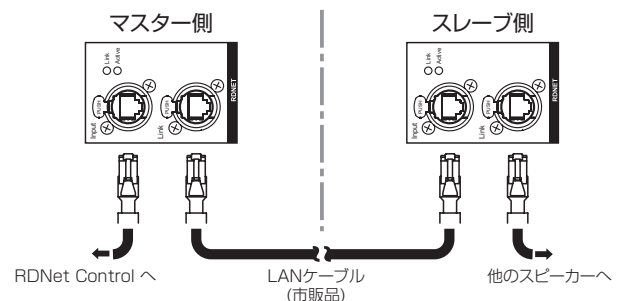
RDNet で複数機を制御する場合、マスター側のData Link端子からスレーブ側のData Input端子にLANケーブル(市販品)で接続します。

この接続を繰り返すことで、接続されたスピーカーを制御することができます。

同様に複数のラインアレイ構成がある場合、制御できるスピーカーの最大数は下記となります。

- RDNet Control 2 : 1ch/32台×2ch 最大64台
- RDNet Control 8 : 1ch/32台×8ch 最大256台

RDNetネットワーク上に接続した機器が認識された場合、Link LED(緑色)が点灯します。



注意

本機をネットワーク接続で制御をする場合、クロスオーバー周波数設定やディレイ調整および入力感度調整、DSP制御はネットワークでの設定が優先されます。(スピーカー単体での設定は、使用されません。)

RDNetネットワークの使用の詳細は、13 ページの「リモート機器の取扱説明書ダウンロード先」を参照してください。

リモート機器の取扱説明書ダウンロード先

リモート機器の取扱説明書については、dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Software & Controller"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

- 取扱説明書
 - RDNet Control 2
"RDNet CONTROL 2_cod420120189_Revx.x-MAN.pdf"
 - RDNet Control 8
"RDNET CONTROL8_cod420120183_Revx.pdf"
- ダウンロードページ
<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

dBTechnologies Networkについて

このdBTechnologies Networkはリモート操作する際に必要なソフトウェアです。

色々な構成時における本機をコントロールできます。様々な状況におけるリアルタイム・モニターや、完全なリモート操作が可能で、例えばラインアレイ構成された本機と3台のサブウーファーの設定や、全システムを稼動中に異なるパラメーターに変更するなどの操作が可能になります。さらに、本機の詳細な設定や本体の操作部では、行えない項目までコントロール可能です。

dBTechnologies Networkを使うことで、以下のモニター機能やパラメーターを設定することができます。

- 出力パワーモニター
- 内蔵アンプの温度モニター
- リミッター作動状況モニター
- 入力感度調整
- フェーズ スイッチ
- クロスオーバー周波数設定
- ディレイ調整
- 音量レベルの設定

dBTechnologies Networkのダウンロード先

dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Software & Controller"の項目を開いて、上段の"Software"の列から対象となる名前の圧縮ファイル(zip形式)をダウンロードしてください。

- セットアップファイル
"db-Technologies-Network_x_x.zip"

"Software & Controller"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となる名前のPDFファイルをダウンロードしてください。

- ソフトウェア取扱説明書
"dBTechnologies-Network_Section_A_REV.x.x.pdf"
"dBTechnologies-Network_Section_B_REV.x.x.pdf"
"dBTechnologies-Network_Section_C_REV.x.x.pdf"

セットアップファイルを解凍後、ソフトウェア取扱説明書の手順に従って操作してください。

- ダウンロードページ
<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

F/Wアップデート (USB Burner Manager ソフトウェア)

本機の全ての機能を実際に使うためには、F/Wを常に最新のものにしておくことをお勧めします。

定期的にdBTechnologiesのウェブサイトのダウンロードページをチェックしてください。F/Wの更新が合った場合は、以下の手順でアップデートすることができます。

- ダウンロードページ
<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>
 1. 上記のDownloadページから"Software & Controller"を開いて、[USB BURNER MANAGER]ソフトウェアをダウンロードし、表示される手順に従ってインストールしてください。
 2. 上記のDownloadページから"DVA"を開いて、上段の"Firmware"の列と対象となる"DVA"機種種の行から、最新のF/W (zip形式)をダウンロードしてください。
ダウンロード後、解凍してください。
 3. 本機とパソコンをUSBケーブル(別売り社外品)で接続してください。
本機の通信用USB端子は、10ページの「各部の名称」を参照してください。
 4. [USB BURNER MANAGER]ソフトウェアを起動し、画面右上から、"File Opening..."を選択してください。
 5. 先程ダウンロードしたF/Wを選択してください。
(お使いのシステムに最適かチェックします。)
 6. UPDATEをクリックし、アップデート作業をスタートしてください。

注意

F/Wアップデート後の電源投入で、保存した各種設定が失われる場合があります。

dBTechnologies Composerのダウンロード

dBTechnologies社の下記ウェブサイトより、ソフトウェアをダウンロードできます。

(<http://www.dbtechnologies.com/es/downloads.aspx>)
ダウンロードページからSoftware & Controllerの項目を選択して、下記ファイルをダウンロードしてください。

- セットアップファイル
"dBTechnologies_Composer_setup_x.x.x.zip"
- ソフトウェア取扱説明書
"Manual-dBTComposer_REVx-x.pdf"

解凍後、ソフトウェア 取扱説明書の手順に従って操作してください。

アクセサリーの取扱説明書ダウンロード先

各アクセサリーの取扱説明書については、dBTechnologies社のウェブサイトのダウンロードページから、"Installation"の項目を開いて、上段の"Manuals"の列から対象となるアクセサリーのPDFファイルをダウンロードしてください。

- ダウンロードページ
<http://www.dbtechnologies.com/en/downloads.aspx>

仕様

	DVA S1518N	DVA S30N
形式		
スピーカータイプ	アクティブ サブウーハー	アクティブ サブウーハー
使用ユニット	18インチ×1 (4インチ ボイスコイル)×1	18インチ×2 (4インチ ボイスコイル)×1
アンプ部		
形式	Digipro G2クラスD	Digipro G3クラスD
RMS出力	1500 W	3000 W
冷却システム	自然対流式	自然対流式
DSP部		
コントローラー	DSP 56 bit	DSP 56 bit
AD/DA処理	24 bit/96 kHz	24 bit/48 kHz
リミッター	RMS、ピーク、サーマル	RMS、ピーク、サーマル
ディレイ調整	0~4.5 ms (0.5刻み)	0~4.5 ms (0.5刻み)
プリセット	入力感度調整ボリューム フェーズスイッチ (OFF : 0° / ON : 180°)	入力感度調整ボリューム フェーズスイッチ (OFF : 0° / ON : 180°)
入力感度	最大0 dBu	最大0 dBu
周波数特性		
±3 dB	39~120 Hz	41~120 Hz
クロスオーバー周波数	75 Hz~120 Hz (切替式、24 dB/oct)	75 Hz~120 Hz (切替式、24 dB/oct)
最大SPL	138 dB (max)	141 dB (max)
外部入力		
XLR端子	XLR端子×1 (バランス)	XLR端子×1 (バランス)
USB端子	mini-Bタイプ×1	mini-Bタイプ×1
LAN端子	Ethernet RJ45タイプ ×1	Ethernet RJ45タイプ ×1
外部出力		
XLR端子	XLR端子×1 (バランス)	XLR端子×1 (バランス)
LAN端子	Ethernet RJ45タイプ ×1	Ethernet RJ45タイプ ×1

一般

	DVA S1518N	DVA S30N
電源		
電圧	AC 100~240V(自動切替式)、50/60Hz	AC 100~240V(自動切替式)、50/60Hz
電源端子	Neutrik社製 powerCON端子	Neutrik社製 powerCON端子
電源Link端子	Neutrik社製 powerCON端子 ×1 (最大供給電流 : 10 A/1150 W)	(なし)

注意

日本国内においては、AC100Vのみ動作保証となります。(それ以外の電圧で、使用しないでください。)

消費電流

(100-120V時) 10 A 20 A

外形寸法

幅×高さ×奥行き(突起部を含まず) 515×640×720 mm 1100×580×720 mm

質量

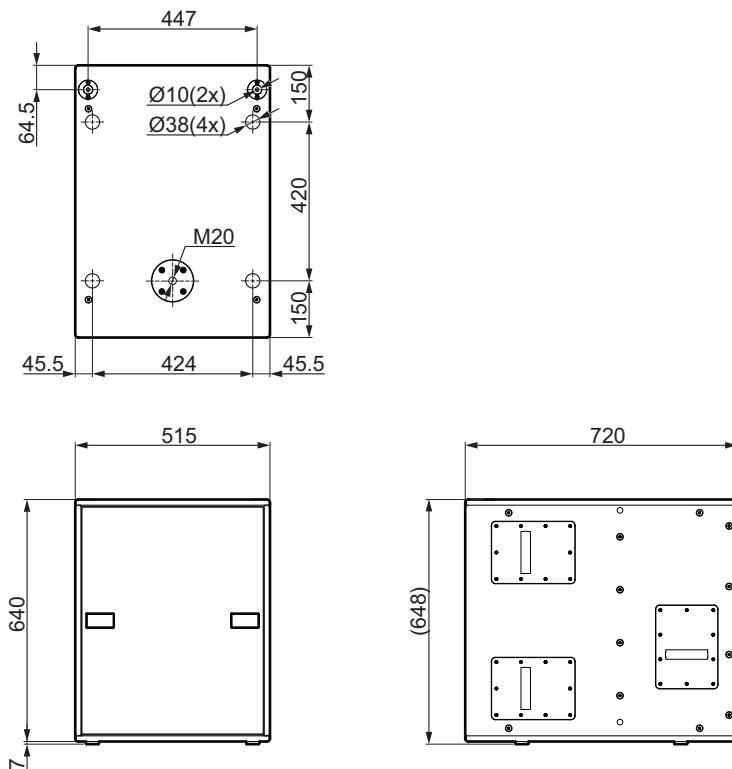
46 kg 83 kg

動作温度

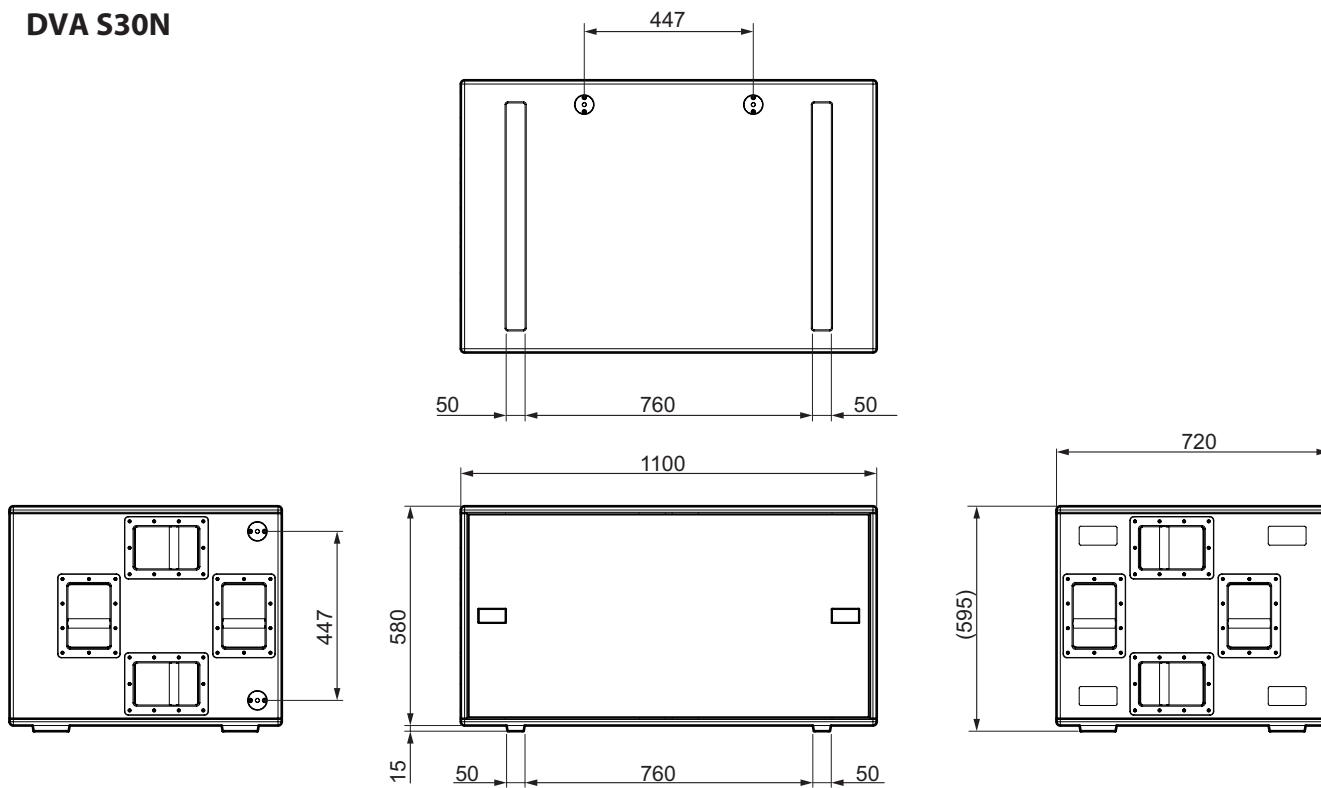
-5 ~ +50℃ -5 ~ +50℃

寸法図

DVA S1518N



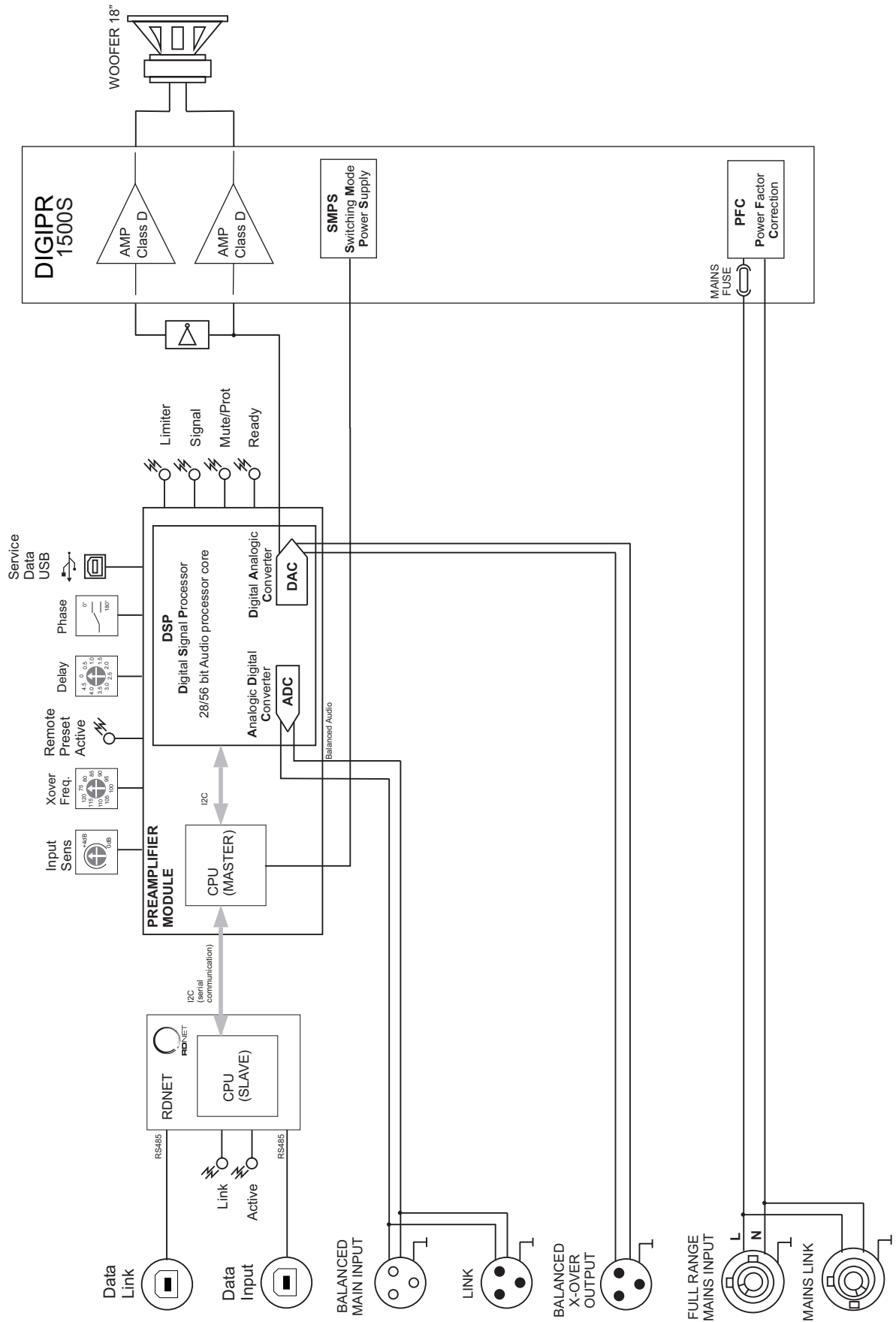
DVA S30N



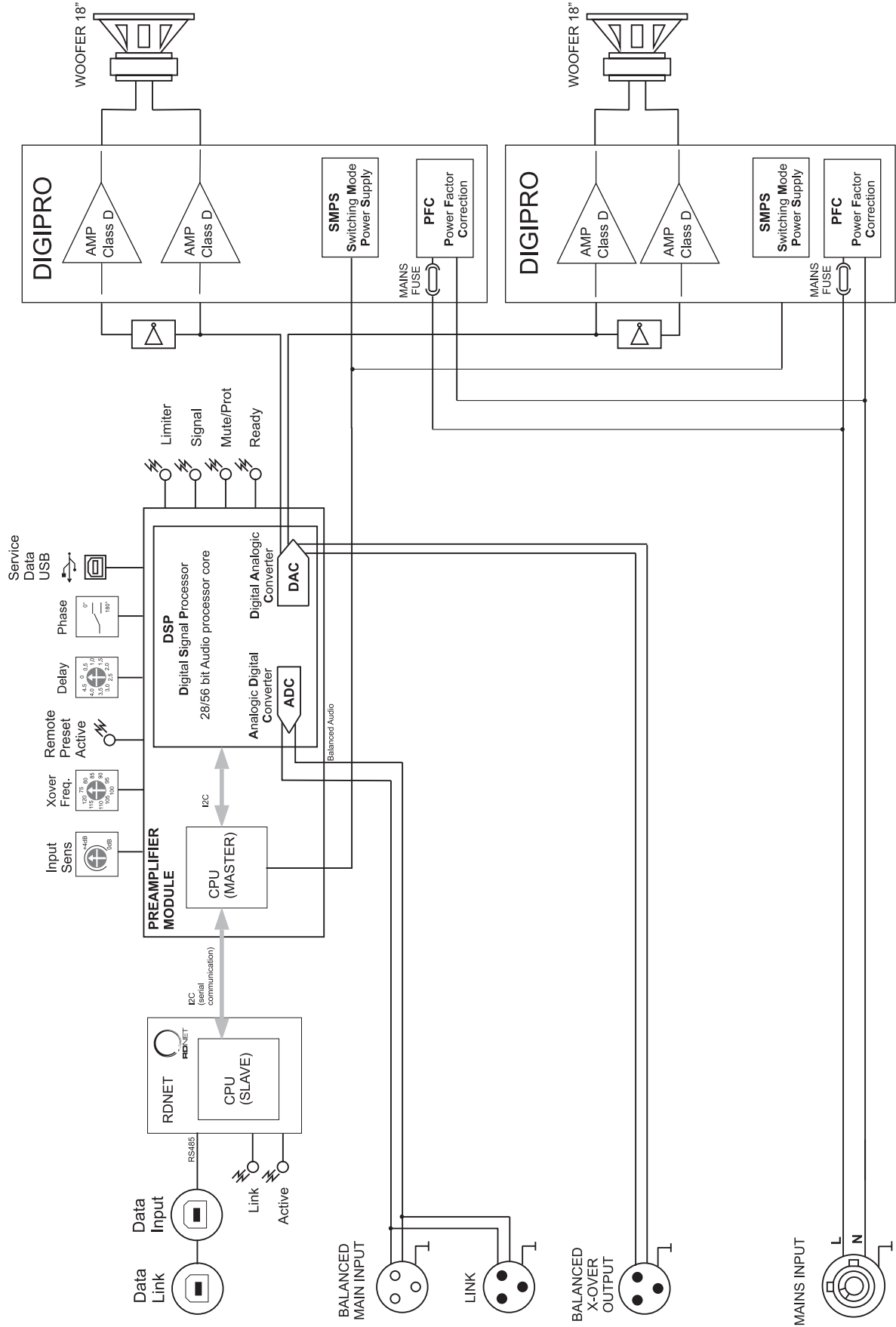
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム

DVA S1518N



DVA S30N





無料修理規定(持ち込み修理)

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2)お買い上げ後の輸送/移動/落下などによる故障および損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4)接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
 - (5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

(6)メンテナンス

(7)本書の提示がない場合

(8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
These warranty provisions in Japanese are valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間/条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。



ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 042-356-9137 / FAX: 042-356-9185

故障/修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

一般電話/公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● ナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話: 04-2901-1033 / FAX: 04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in Japan

保証書

品名	dBTechnologies	
および 形名	DVA S1518N / DVA S30N	
機番		
保証期間	本体	
買い上げ日		
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記の期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	本	
	電話	()

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話: 0570-000-501(ナビダイヤル) / 04-2901-1033